

住みよい「まちづくり」「地域づくり」について

「地域人口減少の抑制」「活力あるまちづくり」のため、地方版「総合戦略」の取組みを進めてきています。しかし、少子高齢化・人口減少が進行する中、「都市のスポンジ化」が進むにつれ、多くの課題が発生し、今後の帯広市の「まちづくりのかたち」と、身近な生活圏の「安心できる地域づくり」に大きな影響が出る可能性があります。「医療や福祉」「商業などの機能が縮小」し、「行政サービスの提供」や「公共施設の維持管理」「地域コミュニティのあり方」など「まちづくり」に様々な分野において影響への対策を求めました。

都市計画

市街化区域の拡大抑制を進めてはいるが、「地域の特徴」や「課題」を精査し、「地域別の対策方針」の策定を求めました。



コミセン施設

「NPO やコミュニティビジネスの拠点」利用など、住民の「生活支援」「地域の課題解決」ができるような制度の検討を求めました。



空き家対策

地域の立地や特徴を把握し、高齢者・子育て家庭への支援のため「政策的に空き家を利用」する「住宅政策」を求めました。

地域高齢者福祉の充足

「てだすけサービス」「つながりサービス」の支援を行っていますが、現状は成果が上がっていない状況。利用ニーズをしっかりと把握し、ミスマッチが発生しないよう、「新たな支援制度」の検討を求めました。

